



岡崎 晋 議員

北丘小階段の強風対策を問う

答 安全対策を考慮した構造である

問 斜面に設置される階段は風除けがない。荒天の強風で通学児童の安全は大丈夫か。

教育長 風量等必要な調査の上で安全対策を考慮した適正な構造である。

問 荒天等で急ぎよ閉められると新川からの登校児童は逆戻りで遠回りすることになるがどうか。

教育部長 保護者にはじんじゅんメールや他のツール等の連絡網を活用したい。

問 現在の階段は新年度から閉鎖予定とのことだが、必要な時には通れるよう、一年間は閉鎖せずに様子を見てもらいたいがどうか。

教育部長 タイミングをみて検討していく。

教育と福祉と家庭の一層の連携を

問 今年5月に文科・厚労両省から教育と福祉と家庭の一層の連携をという通知がなされた。本町の発達障がい等児童生徒の割合及び連携はどうなっているか。

教育長 幼小中合計133人で全体の2・66%である。学校、保護者、相談事業所等三者のケース会議や相談連絡等により連携している。

問 発達障がい児の割合は他自治体の5・6%に比べて低いが、支援学級編入や特別教育支援員配置はどのようになっているか。

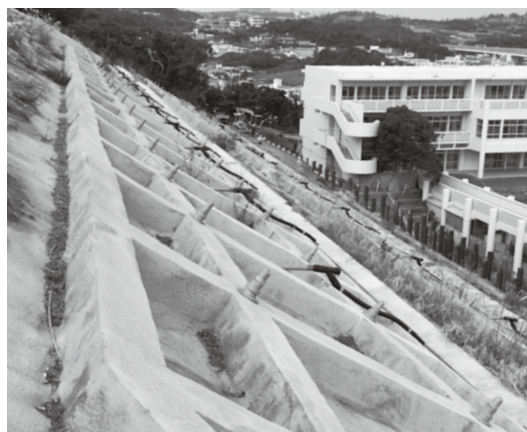
学校教育課長 支援学級編入は保護者からの診断書提出を受け、特別教育支援員配置は学校からの要請を受け、教育支援委員会での判定会議により行っている。

問 発達障害等の最長で一年半かかる診断書提出を本町は求めている。どうしていいかわからない保護者も多く、家庭で虐待もあると聞く。どう連携をとっているか。

学校教育課長 学校の特別支援教育コーディネーター、教育

委員会の特別支援教育相談員、保健福祉課の発達心理士や保健師らで連携している。

民生部長 学校、福祉系のサービスを受ける子ども、事業所、福祉を担う民生部がしっかりと連携することにより、幼児期から高齢者まで切れ目ない支援につなげるため、連携を一層深めていきたい。



北丘小西側避難通路斜面の様子

こんな質問もしました

○南風原町いじめ問題対策連絡協議会について